

事業所名		アンジュ安城				支援プログラム				作成日		2025 年		1 月		28 日	
法人（事業所）理念		障がいを持つすべての人、その家族に対して、悩みや想いに対するきめ細やかな支援や相談場所及び安心できる居場所を提供する事業を行い、将来に向かって夢や希望を持ち、生きる幸せを実感し、自己実現に向かうことができるようにすることにより、障がいを持つすべての人、その家族の人権及び福祉の増進に寄与することを目的とする。															
支援方針		個性かがやくお子さまひとりひとりに寄り添い、自信を育て笑顔を増やす。また、快適に過ごすことができる空間を、そしてご家族の皆様には安心していただけるよう、職員一同心を込めて支援させていただきます。															
営業時間		学校開校日	13	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無		あり				
		学校休業日	9	時	0	分から	18	時	0	分まで							
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	・家庭や学校からの申し送りの確認し、到着時に検温や怪我の有無などの確認、活動中も常に観察を行い健康状態や心身の異変に努める。 ・1日の流れをホワイトボードを用いて、利用者の分かりやすい方法で伝え見通し立てられるように支援する。 ・自分で食事、身支度や物の管理・片付け、整容、着脱、手洗い、排泄等の基本的な生活スキルが身に付くよう支援する。															
	運動・感覚	・感覚統合遊び(トランポリン・サーキット・室内遊具等)を通して周囲の環境に合わせた姿勢、音楽に合わせたダンスや運動等、体全体を動かす事で運動能力向上のための支援を行う。 ・季節を感じられる折り紙作品や工作、手作業を行うことで、指先や手で感覚や感触を感じながら興味を持って取り組めるように支援する。 ・聴覚過敏児童へパーテーションで過ごしやすい環境を作ることで配慮しながら支援する。															
	認知・行動	・ロッカーや物の置き場所を視覚的に分かりやすくし、片付けしやすくする。スケジュールを視覚的に分かりやすく掲示。切り替えの時にはタイマーを使用し切り替えやすくする。 ・作業療育によるマッチング、ひも通し、仕分け、ボールペン組み立て、パソコン等の作業を通して数量、色、大小等の概念形成の習得や就業に繋がる支援を行う。 ・ごっこ遊びを通じたソーシャルスキルトレーニング、道具（パズル、ブロック、ドミノ）を使った形、量の認知の形成を行う。															
	言語コミュニケーション	・日常生活や遊び、活動の中で言葉の発語や理解の幅を広げながら、他者との適切なコミュニケーション方法を学べるように支援する。 ・課題活動（うんぴつ、なぞり書き、計算等）宿題等を通して、読み書き能力向上のための支援を行う。 ・絵本や紙芝居の読み聞かせを通じて、言語の獲得や聞く力の形成する。															
	人間関係社会性	・活動等他者との関わりの中で他者との適した距離感・他者の気持ちの把握が出来るように、適宜声かけを行い、良好な関係形成を支援する。 ・集団活動を通して、順番やルールを理解し守る事、協調した関わりを持てるように支援する。外出活動時に買い物の仕方や公共の場でのルールを知る経験を積む。 ・自身の出来ること出来ないことの経験や個々の場面での行動の振り返りを行うことで、自己理解を促す。															
家族支援		家庭での困りごとに対する助言やサポート 延長サービス								移行支援		学校・関係機関との連携					
地域支援・地域連携		小学校、中学校、高校との情報連携や調整、支援方法についての情報共有 他の放課後等デイサービス事業所や相談支援事業所との連携 医療機関との情報連携や調整								職員の質の向上		ひとりひとりの児童に対する職員会議の実施 支援技術向上のための外部研修及び社内研修 毎日のミーティングによる情報共有					
主な行事等		外出体験、初詣、プール、ハロウィンパーティー、クリスマス会、季節に応じた製作活動、避難訓練等															